



サンタクロースの はるやすみ

デュボアザン作 こ みやゆう 小宮由訳 だいにっぽん と しょ 大日本図書

ある日^ひ、はいいろの空^{そら}と白^{しろ}いゆきに あきあきした
サンタクロースは、はるやすみをとることにしました。し
ようたいをかくし、おしのびで町^{まち}へ出^でかけるのです。
あかるい はるの町^{まち}。サンタクロースはしあわせなき
ぶんになりました。ところが、子どもに「サンタのおひ
げと赤^{あか}いはなぬすんで じぶん
につけちゃった」とはやしたてられ
ておおさわぎに。もう おしのびど
ころではありません。どうしたら
ほんもののサンタクロースだとし
んじて もらえるでしょう。

